

学習指導要領の趣旨を踏まえた
**授業の質的改善に
役立つツール**

学習指導要領(平成29年3月告示)では、「生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うこと」が求められています。生徒の資質・能力を育むために、自らの授業を見直し、質的に改善を図ることが大切です。

このリーフレットは、先生方に、授業の質的改善に役立ててもらおうと、教育センターにおいて作成したものです。

日々の授業や研修会などで、ぜひご活用ください。

目次

- | | | |
|---|-------------|------|
| 1 | 授業の質的改善の手順 | P1~2 |
| 2 | 生徒の姿チェックシート | P3 |
| 3 | 手立てシート | P4~6 |

Scan!!!



Scan!!!

授業の質的改善の手順

どのような手順で授業の質的改善に取り組みやすいのか、また、それぞれの手順でどのようなことを行えばよいのか、確認してみましょう。

① つかむ

■生徒の実態を把握する。

アンケート、レディネステスト、学習状況調査の結果等を基に、「**生徒の姿チェックシート**」を使って、生徒の実態を把握しましょう。

■指導事項（身に付けさせたい力）を明確にする。

学習指導要領に示されている指導事項（身に付けさせたい力）に準拠して、生徒に身に付けさせたい力は何なのか、明確にしましょう。

■教材を分析する。

教材を分析し、学年間の系統性や単元の関連等を把握しましょう。

② 構想する

■適切な言語活動を設定する。

指導事項（身に付けさせたい力）を身に付けさせるのにふさわしい言語活動を設定しましょう。

■単元全体や1単位時間の指導計画を立てる。

指導事項（身に付けさせたい力）、生徒の実態を踏まえ、どのような手立てを取り入れるかを考えて指導計画を立てましょう。（「**手立てシート**」参照）



③ 実践する

■生徒の変容と自らの指導との関連を考える。

生徒の変容を捉えるとともに、効果があった指導、効果が上がらなかった指導やその原因等について振り返り、今後の指導に生かしましょう。

④ 振り返る

①～④の手順を繰り返しながら、自らの授業の質的改善を図っていきましょう。

「生徒の姿チェックシート」と「手立てシート」の使い方

① ある単元が終わった後や、新たな単元を構想する際に、「**生徒の姿チェックシート**」のア～コの項目を読んで、学級の過半数の生徒ができていと思われる項目のチェック欄に✓を付けます。

② ✓が付かなかった項目が、今後、改善を図るとよい項目の目安となります。

③ ✓が付かなかった項目の授業改善の手立てのキーワードを確認します。
右の例の「主に 主体的な学び」の項目では、ウに✓が付かなかったので、ウについての授業改善の手立てのキーワード【**振り返り**】に示されている手立てを取り入れることが有効だと考えられます。

④ ✓が付かなかった項目の授業改善の手立てのキーワードを「**手立てシート**」の中で見つけ、そこに書かれている手立ての中から取り入れるとよいと思う手立てを選択します。

手立てを選択する基準としては、「生徒の実態を考えて効果がありそうな手立て」、「自分の授業を振り返って少し頑張れば取り入れることができそうな手立て」などが考えられます。

右の例では、授業改善の手立てのキーワード【**振り返り**】の項目を探し、そこに示してある手立ての中から取り入れる手立てを選択することになります。

⑤ 手立てを選択したら、その手立てを取り入れた単元計画や指導計画を作成し、授業を実践してみましょう。

※「**手立てシート**」に示している手立ては、あくまでも一例です。キーワードに沿って示されている手立て以外でも、有効だと思われる手立てがあれば、積極的に取り入れていきましょう。

※チェックが付いた「過半数の生徒ができていと思われる」は、あくまでも目安です。全員の生徒ができるようになることを目指して、有効だと思われる手立てを取り入れていきましょう。

生徒の姿チェックシート

※過半数の生徒ができていと思われる項目のチェック欄に✓を付けます。

	生徒の望ましい姿	チェック	授業改善の手立て【キーワード】
主に 主体的な学び	ア 学習内容に関心を示し、見通しをもって学習に向かおうとしている。	✓	【 関心 】 【 見通し 】
	イ 自分の考えをもって、粘り強く学習に取り組もうとしている。	✓	【 粘り強く 】
	ウ 学習を振り返り、自分が学んだことを理解している。		【 振り返り 】
主に 対話的な学び	エ ヘア学習や話し合い活動に、意欲をもって参加している。	✓	【 意欲 】
	オ 対話を通して多様な考えを得て、自らの考えを広げている。	✓	【 広げる 】
	カ 対話を通して多様な考えを得て、自らの考えを深めている。	✓	【 深める 】
主に 深い学び	キ 学習過程の中で、自ら「問い」(課題)を見だし、解決策を考えている。		【 問い 】
	ク 学習の中で得た情報を精査し、自らの考えを形成している。	✓	【 情報の精査 】 【 考えの形成 】
	ケ 学んだ知識を相互に関連付けて、より深く理解している。		【 関連付け 】
	コ 自分が学んだことを、日常生活や社会生活、他教科の学習につなげている。		【 創造 】

※「授業改善の手立て」欄のキーワード【**関心**】【**見通し**】などは、4ページから6ページの「**手立てシート**」のキーワードに対応しています。✓が付かなかった項目については、示された手立てを取り入れてみましょう。

手立てシート 主体的な学び

導入	関心 「興味・関心」をもつことができるようにするために ①学習課題の設定を工夫する。(目的意識・相手意識が明確な課題、身近な課題、生徒の問題意識から生じた課題、自己選択できる課題等) ②単元の魅力を語る。 ③単元で身に付けたい力が、生活や学習のどのような場面で役立つかを示す。
	見通し 「学習の見通し」をもつことができるようにするために ①学習にかかる時間や単元の流れなど、学習計画についてグループで話し合う場を設定する。 ②学習計画表やワークシートなどに、身に付けたい力を明示する。 ③学習の評価の仕方を具体的に説明する。 ④単元で行う言語活動を明確につかめ、取り組めるように示すために。
まとめ	振り返り 次の学習につながる「振り返り」ができるようにするために ①学習過程や思考の過程をたどることができるようにするために、板書やワークシート等を工夫する。 ②自己の変容に気付くことができるようにするために、ノートやワークシート等を基に、自分の考えの過程を振り返らせる。 ③自分の学びのよさや課題に気付くことができるようにするために、振り返りの視点を示す。 ④学んだ内容を再確認し、次の学習につなげることができるようにするために、単元を通して身に付けたい力を振り返る場を設定する。

生徒の姿チェックシート

※過半数の生徒ができていると思われる項目のチェック欄に✓を付けます。

	生徒の望ましい姿	チェック	授業改善の手立て 【キーワード】
主に 主体的な 学び	ア 学習内容に関心を示し、見通しをもって学習に向かおうとしている。		【関心】 【見通し】
	イ 自分の考えをもって、粘り強く学習に取り組もうとしている。		【粘り強く】
	ウ 学習を振り返り、自分が学んだことを理解している。		【振り返り】
主に 対話的な 学び	エ ペア学習や話し合い活動に、意欲をもって参加している。		【意欲】
	オ 対話を通して多様な考えを得て、自らの考えを広げている。		【広げる】
	カ 対話を通して多様な考えを得て、自らの考えを深めている。		【深める】
主に 深い 学び	キ 学習過程の中で、自ら*「問い」(課題)を見だし、解決策を考えている。		【問い】
	ク 学習の中で得た情報を精査し、自らの考えを形成している。		【情報の精査】 【考えの形成】
	ケ 学んだ知識を相互に関連付けて、より深く理解している。		【関連付け】
	コ 自分が学んだことを、日常生活や社会生活、他教科の学習につなげている。		【創造】

※「授業改善の手立て」欄のキーワード(【関心】【見通し】など)は、4ページから6ページの「手立てシート」のキーワードに対応しています。✓が付かなかった項目については、示された手立てを取り入れてみましょう。

*「問い」とは？

「学習課題をふまえて、一人一人の生徒が立てる課題解決のための問題」のことです。

[例]

学習課題 この单元では、人物や情景を描いた表現に着目して、登場人物の心情を捉える学習をします。冒頭の場面と回想場面を関連付けて、冒頭の場面に戻って作品の続きを書きます。(「少年の日の思い出」)



問い ・「客」は、なぜ「私」に過去の過ちについて語ったのだろうか。

・冒頭の場面では、どのような情景描写から「客」の心情が捉えられるだろうか。等

手立てシート 主体的な学び

導入	<p>関心</p> <p>「興味・関心」をもつことができるようにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習課題の設定を工夫する。(目的意識・相手意識が明確な課題, 身近な課題, 生徒の問題意識から生じた課題, 自己選択できる課題等) ②単元の魅力を語る。 ③単元で身に付けたい力が, 生活や学習のどのような場面で役立つかを示す。
	<p>見通し</p> <p>「学習の見通し」をもつことができるようにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習にかかる時間や単元の流れなど, 学習計画についてグループで話し合う場を設定する。 ②学習計画表やワークシートなどに, 身に付けたい力を明示する。 ③学習の評価の仕方を具体的に説明する。 ④単元で行う言語活動を明確につかむことができるようにするために, 教師が演示をしたり, 教師が作成したモデルを提示したりする。 ⑤1単位時間の見通しをもつことができるようにするために, 「めあて」と学習の流れを示す。
展開	<p>粘り強く</p> <p>「粘り強く」学習に取り組むことができるようにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自己選択したり, 自己決定したりする場を設ける。 ②思考を可視化し, 自分の考えを整理したり, 構造化したりする場を設定する。 ③進度に応じて, ヒントカード等を準備する。 ④ブックリストを提示したり, レファレンスサービス等の利用説明を行ったりして, 生徒自身が情報収集を行うよう促す。
	<p>振り返り</p> <p>次の学習につながる「振り返り」ができるようにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ①学習過程や思考の過程をたどることができるようにするために, 板書やワークシート等を工夫する。 ②自己の変容に気付くことができるようにするために, ノートやワークシート等を基に, 自分の考えの過程を振り返らせる。 ③自分の学びのよさや課題に気付くことができるようにするために, 振り返りの視点を示す。 ④学んだ内容を再確認し, 次の学習につなげることができるようにするために, 単元を通して身に付けることができた力を振り返る場を設定する。
まとめ	

手立てシート 対話的な学び

導入	<p>意欲</p> <p>意欲をもって対話することができるようにするために</p> <ol style="list-style-type: none">①話し合う必然性のある課題を設定する。 (答えが複数ある課題, 単純に答えることができない課題等)②グループ内で役割を決めて話し合いを行わせる。(司会, 記録, 発表, タイムキーパー等)③話し合いの目的や進め方, ルール等を明示する。
	<p>広げる</p> <p>自分の考えを広げることができるようにするために</p> <ol style="list-style-type: none">①個人の「問い」を共有する場を設定する。②課題に対する予想や解決方法を話し合う場を設定する。③最適な対話の形態を選択する。(ペア学習, グループ学習, 教職員や地域の人との対話, 資料との対話等)④話し合いの目的に合ったグループの人数や構成を工夫する。⑤話し合い活動の前に自分の考えとその根拠をもたせるための時間を確保する。
展開	<p>深める</p> <p>自分の考えを深めることができるようにするために</p> <ol style="list-style-type: none">①他者の意見はペンを使って書かせたり, 書く場所を変えたりさせる。②ホワイトボード等を用いて考えを整理させる。③情報の整理の仕方を示す。 (比較する, 関連付ける, 順序立てる, 分類する, 構造化する等)④自分と他者の共通点や相違点を比較させる。⑤理由や根拠(なぜ, どうして), 具体例(例えば, 具体的に言うと)など, 問い返しの質問を一覧表にしたものを, 教室に掲示したり, 配付したりする。⑥話し合いのまとめ方を示す。(付箋に書いてグルーピングする, 図を使ってホワイトボードにまとめる等)
まとめ	<ol style="list-style-type: none">⑦共有した内容を書いたり発表したりして表現させる。⑧多様な他者(教師, 生徒, 地域の人等)からの評価の場を設定する。

手立てシート 深い学び

導入	<p>問い</p> <p>「問い」をもつことができるようにするために</p> <ol style="list-style-type: none"> ①学習課題の設定を工夫する。 (多様な考えや感じ方が生まれる課題, 他教科と関連させた課題等) ②複数の「問い」を提示し, その中から「問い」を選ばせる。 ③学校図書館やインターネット等から多様な情報を収集させたり, 提示したりする。
展開	<p>情報の精査</p> <p>情報を精査することができるようにするために</p> <ol style="list-style-type: none"> ①集めた多様な情報を比較したり関連付けたりする場を設定する。 ②他者の意見はペンを使って書かせたり, 書く場所を変えたりさせる。 ③ホワイトボード等を用いて考えを整理させる。 ④自分の考えを深めることができるようにするために, 情報の整理の仕方を示す。(比較する, 関連付ける, 順序立てる, 分類する, 構造化する等) <p>考えの形成</p> <p>自分の考えをもつことができるようにするために</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ヒントカード等を用意する。 ②自分と他者の共通点や相違点を比較させる。 ③理由や根拠(なぜ, どうして), 具体例(例えば, 具体的に言うと)など, 問い返しの質問を一覧表にしたものを, 教室に掲示したり, 配付したりする。 ④話し合いのまとめ方を示す。(付箋に書いてグルーピングする, 図を使ってホワイトボードにまとめる等) ⑤グループで共有した内容を, 書いたり発表したりして表現させる。 ⑥多様な他者(教師, 生徒, 地域の人等)からの評価の場を設定する。 ⑦「気付いたこと」「考えたこと」「できたこと」「これからやってみたいこと」等を自分の言葉で表現させる。
まとめ	<p>関連付け</p> <p>自分の考えをもつことができるようにするために</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ファイリングしておいたワークシート等を振り返らせる。 ②身に付けた知識及び技能, 考え方をファイル等に整理させる。 <p>創造</p> <p>学んだことを, 他の学習につなげることができるようにするために</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自己の変容について振り返らせる。 ②実生活, 既習の学び, 他教科との関連を想起させる。 ③学んだことを活用する場や, 新たな疑問を生み出す場を設定する。 ④身に付けた資質・能力が使える場面について考えさせる。

生徒の姿チェックシート

日々の授業における生徒の姿を確認しましょう。

生徒の姿チェックシート

※過半数の生徒ができていると思われる項目のチェック欄に✓を付けます。

	生徒の望ましい姿	チェック	授業改善の手立て 【キーワード】
主に 主体的な学び	ア 学習内容に関心を示し、見通しをもって学習に向かおうとしている。		【関心】 【見通し】
	イ 自分の考えをもって、粘り強く学習に取り組もうとしている。		【粘り強く】
	ウ 学習を振り返り、自分が学んだことを理解している。		【振り返り】
主に 対話的な学び	エ ペア学習や話し合い活動に、意欲をもって参加している。		【意欲】
	オ 対話を通して多様な考えを得て、自らの考えを広げている。		【広げる】
	カ 対話を通して多様な考えを得て、自らの考えを深めている。		【深める】
主に 深い学び	キ 学習過程の中で、自ら「問い」(課題)を見だし、解決策を考えている。		【問い】
	ク 学習の中で得た情報を精査し、自らの考えを形成している。		【情報の精査】 【考えの形成】
	ケ 学んだ知識を相互に関連付けて、より深く理解している。		【関連付け】
	コ 自分が学んだことを、日常生活や社会生活、他教科の学習につなげている。		【創造】

※「授業改善の手立て」欄のキーワード（【関心】【見通し】など）は、4ページから6ページの「手立てシート」のキーワードに対応しています。✓が付かなかった項目については、示された手立てを取り入れてみましょう。

この生徒の姿チェックシートは3ページと同じものです。チェックをした目の前の生徒の姿は、日々の教師の授業の結果であるとも言えます。3ページを使って、継続的にチェックを行い、手立てシートを参考に、自らの授業をさらによりよいものにしていきませんか。